

活動名 こどもつちゃ！商店街	団体名	こどもつちゃ！商店街実行委員会
	地域	山口県周南市
	代表者	実行委員長 清水 芳将
	支援金額	50万円
活動概要		
①子どもの販売・接客体験、職業体験を84職種実施		
8：30～	お仕事カード（求人票）配布	
10：00 または 10：30～ ※時差で受入を分割して運営を円滑化	1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼（オリエンテーション、あいさつ練習等）～各職場に移動 ・各職場で職業体験（基本は50分程度。商店街の個店のほか、地元企業ブース、臨時店舗も開設） ・ふりかえり（アンケート記入等） ・給与明細書、会場内通貨（労働対価）受取り
11：30 または 12：00～	2回目（同上）	
13：00 または 13：30～	3回目（同上）	
15：30	終了	
②子どもが企画・運営する店舗を実施（3店舗）		
③こどもフリーマーケットを実施（14ブース）		
◆実施時期		
時期：平成25年11月23日（土・祝）10:00～15:30		
場所：徳山商店街一帯		
◆参加人数		
職業体験した子どもの数：のべ830名		
来場者数：10,000名（家族・一般来場者を含む）		
		参加総人員：10,000名



化粧品屋さんでお化粧の仕方を教えてもらう



子ども企画運営店舗(わたがし)



商工高校と地元企業が共同開発した「周南ラーメン」の販売体験



中高生のボランティアが参加者(小学生)のお世話をします

◆実施に伴う効果

- ・アンケートでは、参加した小学生だけでなく、実行委員、中高大学生等の当日ボランティア、参加店舗企業等、さまざまな立場の方が「また参加したい」と回答しており、継続実施しやすい環境ができつつある。特に中高大学生のボランティア参加が、年々増えている。
- ・徳山周南法人会青年部会が、納税意識の向上のため、20Moccha！（会場内通貨の単位）分の架空の源泉徴収を行ったこととする給与明細書を発行していただき、よりリアルな職業体験となった。

◆苦勞した点

- ・全体的には、大きな苦勞点はなかった。
- ・予算的には、マツダ財団様からの支援金のおかげであり苦勞はなかったが、協賛金の1口の額を増額したためか他企業からの協賛金が思ったよりも少なかった。
- ・参加店舗・企業の最終決定が11月上旬にずれ込んだため、チラシの作成・配布が遅れた。
- ・勤勞感謝の日が土曜日と重なったため、スポーツ少年団等の行事があり、参加できなかった子どもが多かったようである。また、銀座通りの飲食関係の臨時店舗が前回よりやや少なかったことと、福知山花火大会露店爆発事故を教訓として出店間隔にゆとりを持たせたことから、人出が少ないという印象を持った方もいた。
- ・職業体験の口数は維持できたが、日程的に参加できなかった店舗・企業がいくつかあり、参加店舗・企業数が前回は下回った。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・新たな人材の発掘・育成を含めた、持続可能で発展性のある実行委員会体制にしていく。
- ・企画段階からの中高大学生の参画について、検討・働きかけをしていく。
- ・協賛金を含めた、地元企業等の支えによる財源確保を図る。
- ・子どもが店舗を企画・運営する「お店を作ろう」の継続と拡大を図る。
- ・幼児向けのコーナー等の設置を進めていく。

◆活動を終えての感想・意見等

まずは、予算面で大きく支えていただいたマツダ財団様にお礼を申し上げたい。
今回は、お仕事カード（求人票）の配布場所「こどもっちゃ！ハローワーク」の場所を変更するという大きなチャレンジがあったが、無事終えることができ、実行委員会に地力がついてきたことを実感している。
イベントそのものも、参加した小学生だけでなく、実行委員、中高大学生等の当日ボランティア、参加店舗・企業等、さまざまな立場の方が「また参加したい」と言ってくれるイベントに成長した。次回は、第1回に参加した6年生が高校生となる。イベントの継続・発展とともに、子どもたちが参加者からボランティアへ、そして実行委員会へと継続して関わっていただけるような息の長いイベントにしていきたい。